

30th Anniversary Exhibition
Exciting Kanazawa! in the Edo Era

石川県立歴史博物館 開館30周年記念 平成28年度秋季特別展

城下町金沢は大にぎわい!



ことひらじんじやほうのうがく
金刀比羅神社奉納額 1面 慶応2(1866)年 (金刀比羅神社蔵) 修復後初公開

金沢市金石の金刀比羅神社に伝わる奉納額。伝承によれば、この奉納額と天保15(1844)年に奉納された秋葉神社の歌舞伎奉納額は藩米輸送の宮腰(金石)の船頭たちが大坂に停泊中に芝居や文楽を見物した際に、道頓堀の歌舞伎絵看板をもらい船に積んで持ち帰ったものという。この奉納額は海上安全を祈って金毘羅権現に奉納された額で、絵看板の演目は吃又(傾城反魂香)の一場面である。

- 会 期 2016年 9月17日(土)～11月6日(日) [前期] 9月17日(土)～10月10日(月・祝)
[後期] 10月11日(火)～11月 6日(日)
※会期中無休、会期中一部展示替えがあります。
- 会 場 石川県立歴史博物館 特別展示室・企画展示室
- 主 催 石川県立歴史博物館
- 共 催 北國新聞社
- 後 援 NHK金沢放送局・北陸放送・石川テレビ放送・テレビ金沢・北陸朝日放送・金沢ケーブルテレビネット
エフエム石川・ラジオかなざわ・ラジオこまつ・ラジオななお
- 開館時間 午前9時～午後5時(展示室入室は午後4時30分まで)
- 観 覧 料 [特別展] 一般800円(640円)、大学生640円(510円)、高校生以下無料
[特別展・常設展セット券] 一般880円、大学生700円
※()内は20名以上の団体料金 65歳以上は団体料金

30th Anniversary Exhibition Exciting Kanazawa! in the Edo Era

石川県立歴史博物館 開館30周年記念

平成28年度秋季特別展「城下町金沢は大にぎわい！」

このたび、石川県立歴史博物館では開館30周年を記念した特別展「城下町金沢は大にぎわい！」を開催することとなりました。

江戸時代、金沢は江戸・大坂・京都に次ぐ人口規模を誇り、百万石の城下町として栄えました。昨年春の北陸新幹線の金沢開業を契機に多くの観光客でにぎわう金沢ですが、江戸時代の記録をひもとくと、そこには現代とは一味違う、当時の人々にとってのにぎわいの世界が広がっています。なかでも祭礼や芝居、開帳が行われていた寺社や料理屋などに集うことは大きな楽しみの一つでした。

本展では、貴重な文化財の数々をご覧くださいとともに、日記や絵画資料から浮かびあがる金沢のにぎわいの様子を再現展示などでご紹介いたします。

展示構成

プロローグ —城下町金沢のにぎわいの場を読み解く—

- (1) 金沢町人宮竹屋の歴史と文化
- (2) 寺社のご開帳に集う人々
- (3) 芝居と茶屋町
- (4) 神事・祭礼・盆正月

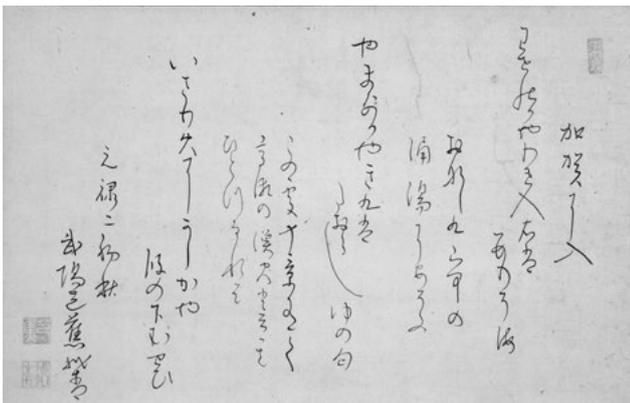
エピローグ —その後の城下町金沢—

これは必見!

This is a must-see!

(1) 幻の豪商・宮竹屋

「金沢町人宮竹屋の歴史と文化」のコーナーでは、金沢のにぎわい創出を支えていた商家の一例として宮竹屋を取り上げます。今回初公開となる金沢工業大学ライブラリーセンター所蔵の亀田文庫は宮竹屋のつとめや商売、俳諧・茶道に関する貴重な史料群です。松尾芭蕉が加



松尾芭蕉 加賀山中懷紙 1幅 元禄2(1689)年 福井県立美術館蔵 ※後期展示

賀でよんだ俳句が書かれた「山中懷紙」と「支考極め書」(いずれも福井県立美術館蔵)は、県内初公開。宮竹屋小春をはじめとする金沢町人と芭蕉との交流の深さを物語る新発見史料です。

(2) 博物館でご開帳!?

「寺社のご開帳に集う人々」のコーナーでは、江戸時代の人々が楽しみにしていた寺社のご開帳に関する史料を紹介いたします。今年創建400年を迎える卯辰観音院の木造二天立像(金沢市指定文化財・初公開)や金沢で出開帳をしていた小松の多太神社の斎藤実盛の袖・脛当(いずれも重要文化財)など貴重な文化財を展示します。会期中10月11日(火)から20日(木)は俱利伽羅不動寺のご本尊(レプリカ)を限定公開します。



木造二天立像 2軀 平安時代 観音院蔵

(3) 金沢の歌舞伎・浄瑠璃

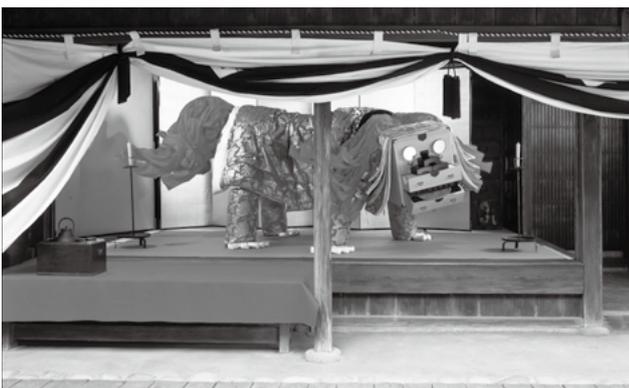
「芝居と茶屋町」のコーナーでは、金沢や宮腰（現・金沢市金石）などで行われていた芝居の番付や歌舞伎衣装、人形浄瑠璃の人形などを大迫力で展示します。金沢の浄瑠璃人形（県内初公開）は、大坂で考案された三人使いの文楽人形とは異なり、指を使って一人で人形をあやつるものでした。また、明治～大正期の金沢を代表する大劇場であった福助座の歌舞伎衣装も初公開です。



浄瑠璃指人形 娘 1体
明治～昭和時代
金沢工業大学ライブラリー
センター蔵

(4) 神事・祭礼・盆正月

「神事・祭礼・盆正月」のコーナーでは、金沢城下を彩った神事・祭礼・盆正月を取り上げます。金沢では各地で神事・祭礼が行われていましたが、こうした行事に伴って寺社境内では見世物やからくり興行が行われ、町ごとに獅子舞、造り物などが出て、人々の楽しみとなっていました。ここでは、こうした地域住民の創意工夫によるパフォーマンスの世界を紹介します。



獅子造り物(再現) 1点 平成時代 大阪くらしの今昔館蔵
(写真:京極 寛)

今回の展覧会では、約200件の作品が展示されます。江戸時代の金沢城下のにぎわいの様子をさまざまな視点から紹介する展示としては初めての試みであり、これだけの史料が一堂に会する機会はまたとありません。会期中はクイズラリーや特別展関連イベントも行いますので、展示とあわせてお楽しみください。

■ 関連イベント

- ・特別展記念講演会①「金沢の開帳」
講師：宇佐美 孝 氏（加能地域史研究会参与）
日時：9月18日（日）13:30～15:00
会場：ワークショップルーム
定員：80名（申込不要/聴講無料）
- ・特別展記念講演会②「城下町のにぎわいと芸能興行」
講師：塩川 隆文 氏（金沢市立玉川図書館主任主事）
日時：10月10日（月・祝）13:30～15:00
会場：ワークショップルーム
定員：80名（申込不要/聴講無料）
- ・展示解説
日時：9月24日（土）、10月30日（日）
いずれも13:30～14:30
会場：特別展示室・企画展示室
講師：当館学芸員（申込不要/要観覧料）

・さるまわしがやってきた!

江戸時代の芸能パフォーマンスショー 
日時：10月8日（土）13:30～、14:30～の2回
会場：博物館中庭（雨天時はギャラリー）
定員：なし（申込不要/参加無料）

・歌舞伎ってなあに?

歌舞伎についてのトークと実演、体験 
講師：伊澤 鉄馬 氏（小松市民歌舞伎講師）
日時：10月29日（土）13:30～15:00
会場：ワークショップルーム
定員：30名（要申込/参加費500円）
募集期間：10月3日（月）～10月17日（月）
*往復はがきで石川県立歴史博物館あてにお送り下さい

・ミュージアムウィーク スペシャル講演会

「加賀の藩風を語る」
講師：磯田 道史 氏（国際日本文化研究センター准教授）
日時：11月3日（木・祝）13:30～15:00
会場：ワークショップルーム
定員：120名
募集期間：10月7日（金）まで
*往復はがきで石川県文化振興課 [〒920-8580（住所不要）] あてにお送り下さい

※いずれのイベントも、往復はがきには①氏名、②住所、③電話番号、④人数（1通につき2名まで）、⑤希望イベント名を明記してください。応募多数の場合は抽選になりますのでご了承下さい。

*締切日必着

 いしかわ子ども文化体験チャレンジスクール
～進め! 出世街道～対象事業

学芸員
コラム資料の宝庫「^おが大鋸コレクション」

「大鋸コレクション」は、昭和57年（1982）に寄贈された当館きっての大型コレクションです。古文書や掛軸、引き札などの歴史資料約18000点、生活用具や道具、衣類などの民俗資料約1600点などからなります。このうち、書籍編、刷り物編、古文書など10冊余の目録を刊行し、公開に努めてきました。もちろんすべてが目録化されたわけではなく、残っている掛軸や古文書、絵図・地図類、古写本、衣類、民具などは、いまだに目途が立っていません。

私はまだ大学院生だった時代の話なので、「整理して目録の出版に至っていないのは、怠慢では…」との思いもありますが、ここまで残ってきた資料というのは、なかなかの「くせ者」揃い、一冊の目録にまとまるものではありません。最後に「あとはこんなものがありました」と一括りにするしかないと感じています。

ところが、リニューアルもひと段落し、手が空いたひと時、収蔵庫の未整理箱や詳細不明箱を漁っていると、極々稀に「んっ!？」と気になるものが見つかったりします。そんな時、自分はデジタルカメラで（ときにはスマートフォンで）撮影しておきます。深夜、自宅でコーヒーを片手にパソコンに映し出した、古文書と向き合っています。

そんな資料から1点、紹介しましょう。

大意を紹介すると、

「筑前守様（14代慶寧）から新年の挨拶状が届きました。上様（13代齊泰）溶姫様（齊泰正室・慶寧生母）ともに揃って健やかに新年を迎えられました。また、溶姫様へのお手紙も、上様が喜んでおられました。真龍院様（12代齊広正室）、筑前守様、お初さま（齊泰2女）がお揃いで、健やか変わることなく新年を迎えられたことは、まことに目出度いとのことでした。」

といったところでしょうか。

お初が齊泰の二女のお初ならば、万延元年（1860）に江戸で生まれ、文久2年（1862）に慶寧・慶寧室とともに金沢へ来たから、真龍院・慶寧・お初が揃うのは文久3年の正月以降と考えられます。しかし、この時齊泰は金沢にいますが、溶姫は江戸に居て二人が揃っていないので×。文久3年には江戸から溶姫が金沢へ移るので、この書状は元治元年（1864）正月頃のものと考えられます。齊泰と溶姫は金沢城二の丸御殿に居て、差出人の名倉・糸沢・濱山の三人は齊泰付きの女房衆、慶寧らは金谷御殿、真龍院は異新殿に居たのでしょうか？書状の宛所である津山・磯川は慶寧付きの女房衆とみることができます。

そしてこの後、7月に禁門の変が起こり、長州征伐、慶寧帰国事件へと連なり、激動の幕末期へと時が進んで行きます。そのような気配は微塵もない、藩主家勢揃いの穏やかなお正月の風景が浮かびます。

収蔵資料の中には、大鋸コレクションのようにすべてが明快になっていないものもあります。そのはつきりしない部分に入り込んでいくのは、学芸員の楽しみです。一緒に探してみませんか？

（資料課長 濱岡 伸也）



前田齊泰女房奉書（大鋸コレクション所収）

教育プログラム Educational Program

一日学芸員奮闘記

当館では、夏休みの子供向けイベントの一つとして一日学芸員を公募しました。20名近い応募があり抽選で5名の小学生が一日学芸員に任命されました。今回は、任命された5名の奮闘ぶりをレポートしてみたいと思います。

当館館長より一日学芸員の任命を受け、1人ひとりにIDカードが首にかけられました。一日学芸員の始まりです。まず、普段は入ることができない収蔵庫に入りました。最初、収蔵されている資料の多さに驚いていました。しかし、展示室ではガラス越しでしか見ることができない資料をまじかで見ることができ感激していました。また、当館学芸員の指導のもと直に資料に触れることができ、少し興奮してい



一日学芸員任命式



収蔵庫①



収蔵庫②

るようでした。

さて、昼休みを挟んで、後半は実物資料を扱う研修から始まりました。当館学芸員から説明を受けた後、古美術資料が入った箱に紐をかける実習に取りかかりました。一見簡単そうに見える作業ですが、一つひとつの動作にしっかりとした意味がある事を知ると少し驚いたような表情をしていました。次に、掛け軸を広げ、それを壁に掛ける実習をしました。広げる作業



実習①



実習②

がうまくいき満足そうな顔をしていましたが、掛け軸を巻きとる作業が思いのほかうまくいかず苦戦していました。しかし、何度も繰り返すうちにコツがつかめたのか徐々にうまく巻き取ることができるようになりました。そして、気がつくともう予定していた時間を超えていました。元気そうだった彼らの顔にも徐々に疲労の色が見え始めていました。本当に疲れたことと思います。本日、おこなってもらったことは我々が日頃おこなっていることのほんの一部だけです。しかし、我々、博物館職員が常日頃行っていることを少しでも理解してもらえれば幸いです。そして、将来、本当に学芸員になってくれる人が現れることを期待しています。本日はお疲れ様でした。

(担当課長 永井 浩)

■ 催し物案内 Information 展示解説や各種講座などの情報をお知らせします。

- 学芸員によるワンポイント解説(全10回) ※要観覧料、申込不要
毎月1回、金曜日に実施している展示解説。当館の学芸員が博物館のみどころを紹介します。
時間 13:30~14:00 場所 展示室
- れきはくゼミナール(全10回) ※受講無料、申込不要
毎月1回、土曜日に実施している博物館講座。当館の学芸員が独自のテーマを設定し講義します。
時間 13:30~15:00 場所 ワークショップルーム
- 古文書講座(前期・後期各3回) ※受講無料、要申込
当館の学芸員が古文書の読み方や内容を解説します。
時間 13:30~15:00 場所 ワークショップルーム
*前期分のお申込みは終了しました。後期分受講者は12月1日より募集予定です。

10月 ※10月の休館日 なし

- 15日(土) れきはくゼミナール
「城下町金沢の娯楽と信仰」 学芸主任 塩崎 久代
- 21日(金) 学芸員によるワンポイント解説
「城下の祭礼」 学芸課長 大門 哲

11月 ※11月の休館日 11/7(月)、11/8(火)

- 19日(土) れきはくゼミナール
「リニューアル秘話・神饌の再現模型をつくる」 学芸主任 大井 理恵
- 25日(金) 学芸員によるワンポイント解説
「葎ヶ岳と白山修験」 学芸主幹 戸潤 幹夫

12月 ※12月の休館日 12/28(水)~31(土)

- 17日(土) れきはくゼミナール
「モダニズムと大衆文化」 学芸主任 石田 健
- 23日(金) 学芸員によるワンポイント解説
「北前船、北へ!」 資料課長 濱岡 伸也

1月 ※1月の休館日 1/1(日)~3(火)

- 21日(土) れきはくゼミナール
「前田家と茶の湯」 学芸主幹 北 春千代
- 26日(木) 古文書講座(後期第1回)
学芸主任 塩崎 久代
- 27日(金) 学芸員によるワンポイント解説
「蝦夷穴古墳と古代の能登」 学芸主任 三浦 俊明

■トピックス Topics

夏休みの宿題を完成させよう!

夏休み中、夏季特別展「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」の関連行事として3つのワークショップがおこなわれました。子ども向けとしては、手回し



九谷焼絵付け体験

ろくろを使ってお茶碗やお皿を作る「器づくり体験」、そして、皿や湯飲みなどに和絵具を使って絵付けをする「九谷焼絵付け体験」がおこなわれました。作品自体が夏休みの宿題にもなるということで、定員の十倍を超える応募がありました

た。そのため、抽選に漏れ、残念ながら参加できなかった方が多数おられました。誠に申し訳ありませんでした。

また、今回、当館「ほっとサロン」を会場にした大人向けのワークショップ「紅茶教室 - 明治・大正・昭和 日本の紅茶をめぐる歴史物語 -」も開かれました。紅茶にまつわる様々なお話を聞きながら、紅茶の入れ方を体験する優雅な時間をお過ごしいただきました。



器づくり体験



紅茶教室

■次回展覧会のお知らせ Upcoming Exhibition

平成28年度 企画展 「モダン金沢と大衆文化」

12月10日(土)～1月15日(日) ※常設展の料金でご覧いただけます。

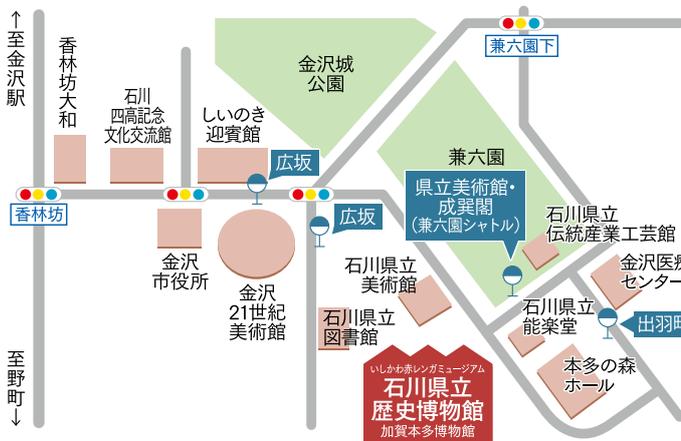
金沢は、しばしば「城下町」といった伝統的なイメージで語られます。しかし、大正から昭和戦前の時期、多くの地方都市にもまして「モダン都市」の色彩を帯びた時代がありました。大正末期に始まったラジオ放送は、国内外の出来事をすぐに全国に伝え、また、都市部を中心に映画などの娯楽やデパートの出現など、現在に続く生活文化の原型がこの時代に生まれました。本展では、ラジオなどの道具、演劇や映画のポスターをはじめ、チラシ、雑誌など、豊かな大衆文化の様相を紹介します。



ラジオ単独供給開始記念ポスター (本館蔵)



雑誌「モダン金沢」(本館蔵)



いしかわ赤レンガミュージアム

石川県立歴史博物館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1
TEL : 076-262-3236 FAX : 076-262-1836
E-mail : rekihaku@pref.ishikawa.lg.jp
http://ishikawa-rekihaku.jp/

至金沢駅
至香林坊

至香林坊
至野町

ガン保険

チューリッヒ生命
「終身ガン治療保険プレミアム」

通院治療が増加している時代の、画期的なガン保険

今、ガン保険にご加入されている方も、
ご加入されていない方も今すぐチェック!

0037-6001-64004

※一部の固定電話から繋がらない場合がございます。恐れ入りますが携帯電話等でおかけください。
受付時間：10時～19時(日曜定休) 広告有効期限：2017年1月31日 募補16004-20160112
《募集代理店》株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング 〒160-0022東京都新宿区新宿5-17-18 ZURICH

既にガン保険にご加入されている方に

追加のご加入で、ガンの通院治療の保障を充実

- 主契約：放射線治療給付金、抗がん剤・ホルモン剤治療給付金(給付月額20万円)
- 保険期間・保険料払込期間：終身

35歳男性 月払保険料 **1,500円**

43歳女性 月払保険料 **1,500円**

ガン保険にご加入されていない方に

自由設計プランで、ガンの通院治療と診断給付金と先進医療まで備える

- 主契約：放射線治療給付金、抗がん剤・ホルモン剤治療給付金(給付月額20万円)
- 特約：ガン先進医療給付金、ガン先進医療支援給付金(一括15万円)、ガン診断給付金(一括50万円)、悪性新生物保険料払込免除
- 保険期間・保険料払込期間：終身

40歳男性 月払保険料 **3,216円**

※記載の保険料は 2015年6月現在のものです。 ※この欄は商品の概要を説明しています。商品の詳細については、パンフレット、ご契約に関する注意事項(契約概要、注意喚起情報)等をご確認ください。